

「PLAYERS FIRST (プレイヤーズ・ファースト)」

～ 大会ガイドライン 2007 (案) について ～

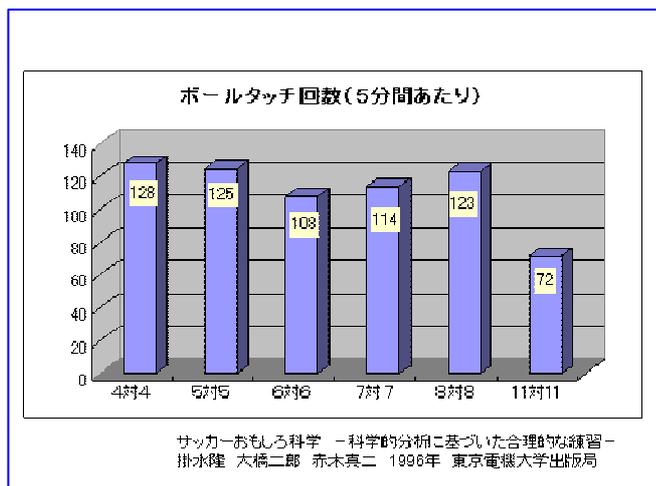
JFAは、大会の在り方について提案をしています。

これまで大会といえば、ウィナーを決めるものためのものがほとんどでしたが、試合、大会は育成の大きな柱の一つであるという考え方に立ち、健康・安全の観点に加え、育成、サッカーの習得の観点からガイドラインを提示しています。また、登録しているすべてのチーム・選手が出場できる環境をつくること、JFAユースダイレクターと協議の上、ローカルルールを導入することも可能になっています。

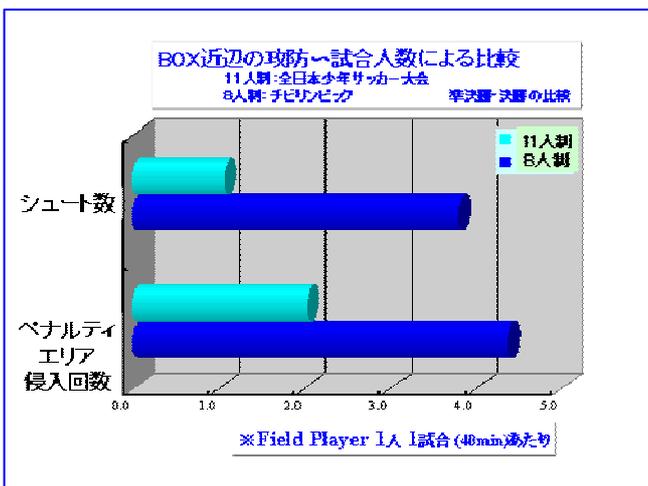
このガイドラインは、まだ(案)という形の提案ですが、サッカーに係わる関係者だけでなく、選手、その保護者にもその趣旨を理解して頂ければと思います。本来は規則で縛るものではなく、指導者・選手自らがそのフィロソフィーで行うことが求められています。

例としてU-12以下の年代に推奨している8vs8の大会について紹介します。

資料 1



資料 2



資料 1・2 から分かる通り、一人ひとりがボールにさわる回数、直接プレーに関わる回数を増やすことが、スキルの向上に重要です。また、全員が常に全ての攻守に積極的に関わり、さらに日本の課題であるゴール前の攻防のプレーを高めるため、その意味でも、ボールタッチの回数が多く、ゴール前の攻防が数多く出る8対8を推奨します。また、多くの選手が出場できるピリオド制の導入や1日の試合時間1人45分以内(U-12)も提案しています。

このように人数・交代・ポジション・ピッチサイズ・レフェリングなど各ユース年代に求められる課題から、ガイドラインを提案しています。すでに協会でも検討されていますが、今後も釧路の子どもたちによりよいサッカーの環境が与えられるようにしていきたいと考えています。

(「大会ガイドライン 2007」については、今後、ユースダイレクターを通して、小学校・中学校・高校・女子の各種別へ提案されていきます。)